

株主通信 2014

2013年3月1日 - 2014年2月28日 (第32期)

社是

Company creed

技術で社会に貢献する

We contribute to the society
by providing technical services.

目次

Contents

4. 社長メッセージ
6. 事業概況
8. 第32期の総括
9. 今後の見通し
10. ソーバルの戦略
12. 業績ハイライト
13. 財務諸表
14. 株主優待のご紹介と配当政策
15. 株主情報
16. 会社 / 株式情報

企業にとって、最大の資源は人材です。



時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。高い意識と技術をもつ人材が充実した環境で働くことが、価値あるテクノロジーを生み出す近道だと、考えております。

私どもは、企業活動に関わる全ての方の満足が、企業価値の向上に繋がるとも考えております。長年、人材開発と教育に投資を続け、高い定着率とともにIT分野の技術革新とその蓄積を続けてまいりました。技術力とそのチャンスを拡大するため、ソーバルでは仕事とプライベートのバランスを大切にす社風を築いてまいりました。

経験豊富な人材を合わせ持つ、国内有数の独立系組込みシステム開発企業と、お客様からも高いご評価をいただいております。分野としては、コンシューマ向け製品から特殊分野で用いられる装置まで多岐に渡り、範囲をみても、ソフトウェアに留まらず、ハードウェアの研究・試作・量産設計の技術協力など、多様に開発を展開しております。昨今では、さらに技術の幅を広げ、業務システムやウェブシステム開発にも力を入れており、マルチレイヤーのシステム開発をワンストップ受注できる体制を確立いたしました。また主体のエンジニアリング事業をより充実させつつ、新規事業への投資を行い、ソーバルのさらなる発展に寄与する取り組みに力を入れております。そして現在も無借金

経営の強固な財務体質を維持しております。

加えて2012年2月期から株主優待制度を開始いたしました。これは株主の皆様の日頃のご支援にお応えするべく、当社株式への投資魅力を高め、流動性を確保することを目的としております。また当初より配当性向約30%を維持しておりましたが、2015年2月期より配当性向35%を目標に株主の皆様へ利益還元を行ってまいります。そして当社は、新たなステージとして東証1部を目指し、より一層の業容拡大を目指してまいります。

1983年創業以来の、「技術で社会に貢献する」というソーバルの理念は、今後も変わらず貫いて

まいります。社会との結びつきとして、技術だけではなく様々なボランティア活動など、社会に愛され、貢献できる姿を描き、成長してまいります。ソーバルはすべてのステークホルダーの皆様から、より一層の信頼の獲得と、期待に応えるべく、全社一丸となって邁進してまいります。

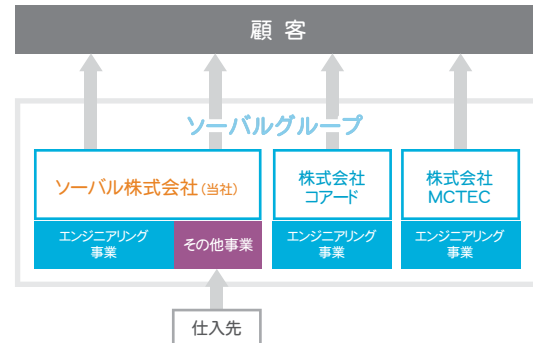
今後とも、変わらぬご支援とより一層のご鞭撻を賜ります様、どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

ソーバル株式会社 代表取締役社長

推津 順一

ソーバルグループの事業

当社グループは、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの開発及び評価に関するサービスを提供するエンジニアリング事業を主な事業として展開しております。



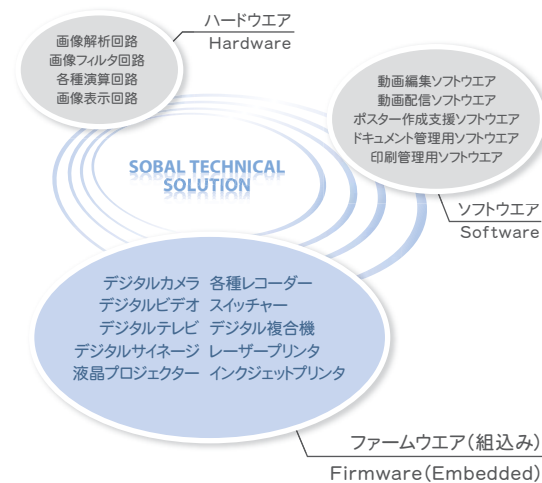
エンジニアリング事業

主として、デジタル製品メーカーに対し、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの「開発」を支援するサービスを提供しております。同時に、開発中の試作品の不具合や仕様誤りをプログラムレベルで評価・検証したり、生産前の製品の品質評価をする「評価」サービスも提供しております。また、デジタル製品メーカー以外にも、精密機器や電子機器メーカーに対して、同様の技

術支援サービスの提供を行っております。ソフトウェアでは、デジタル製品のアプリケーションツールやドライバの開発のみならず、Webアプリケーションの開発にも携わっております。ハードウェアでは、LSIやDSPの設計・開発、周辺回路設計、さらに構造設計や機構設計の研究・試作・量産設計を開発範囲としております。

併せて、組込みソフト開発において培われた技術基盤により、製品開発コスト管理支援ソリューション、組込みシステム設計支援ソリューション、SoC設計支援ソリューション、ソフトウェア製品化支援ソリューション、基板装置試作・量産支援ソリューション等の各種コンサルテーションを提供しております。

▽業務実績例

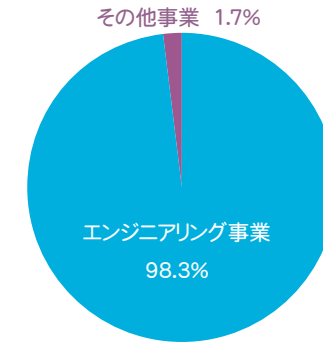


その他事業 (RFID事業、ネット関連事業)

その他事業として現在、「RFID」製品の開発、製造、販売及びネット関連事業を展開しております。

「RFID」は、電波及び電磁誘導方式を用いた非接触型の自動認識技術であり、電子マネーや物流・在庫管理等の分野において利用されております。

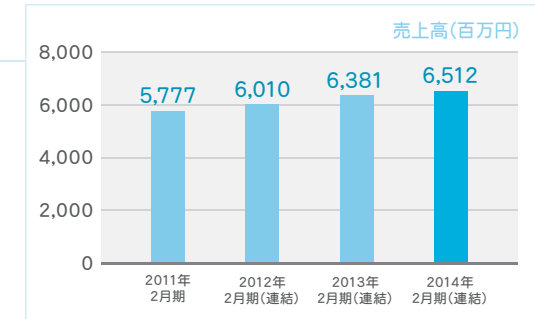
▽セグメント別売上高内訳



第32期のセグメント別業績概要

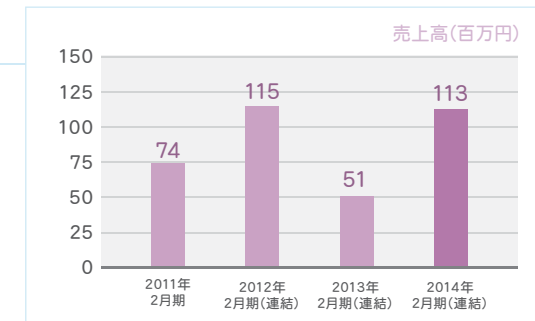
エンジニアリング事業

当社各グループ間でのより徹底した情報共有と効率的なアサイン、新人を含む弱経験者に対する教育に力を注ぎ、非常に高い稼働状況を実現することができました。これらの結果、エンジニアリング事業の売上高は6,512百万円(前年同期比2.0%増)となりました。



その他事業 (RFID事業、ネット関連事業)

停滞しておりました電波法再編に関する機器の置換の進捗がようやく進み、その結果、その他事業の売上高は113百万円(前年同期比118.2%増)と大幅な増加となりました。



第32期の総括

Summary of the 32th term

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和を契機とした円安・株高傾向が継続し、企業の景況感や個人消費が堅調に推移し、実体経済にも好影響を及ぼしつつあります。世界経済におきましては、債務問題の発生以降長らく停滞傾向にあった欧州経済が年度後半以降に回復の兆しを見せ、米国でも景気回復が着実に進展する等、総じて先進国の経済状況は好転しております。一方、新興国では景気の減速局面が続く等、世界経済全体の先行きに対する懸念の払拭には至らない状況にあります。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、従来から得意とする組込み系の開発はもとより、業務系システムの案件が増加傾向となりました。また、急速に拡大しているスマートフォンやタブレット、クラウド関連の案件や、インターネットを活用した様々なサービスに関する開発案件のニーズも拡大してまいりました。

利益面に関しましては、売上高の増加や間接部門の作業効率化推進などにより増益となりました。

以上により、当社グループの売上高は6,625百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は518百万円（同13.3%増）、経常利益は516百万円（同11.4%増）、当期純利益は302百万円（同22.4%増）となりました。

	2013年2月期 (第31期) (連結)	2014年2月期 (第32期) (連結)	前年同期 増減比
売上高 (百万円)	6,433	6,625	3.0% ↑
営業利益 (百万円)	457	518	13.3% ↑
経常利益 (百万円)	464	516	11.4% ↑
当期純利益 (百万円)	246	302	22.4% ↑
総資産 (百万円)	2,908	3,167	8.9% ↑
純資産 (百万円)	2,204	2,433	10.4% ↑
一株当たり 当期純利益 (円)	56.83	69.53	22.3% ↑
一株当たり 純資産 (円)	507.23	559.59	10.3% ↑
一株当たり 配当金 (円)	17.00	21.00	23.5% ↑

今後の見通し

Future Prospects

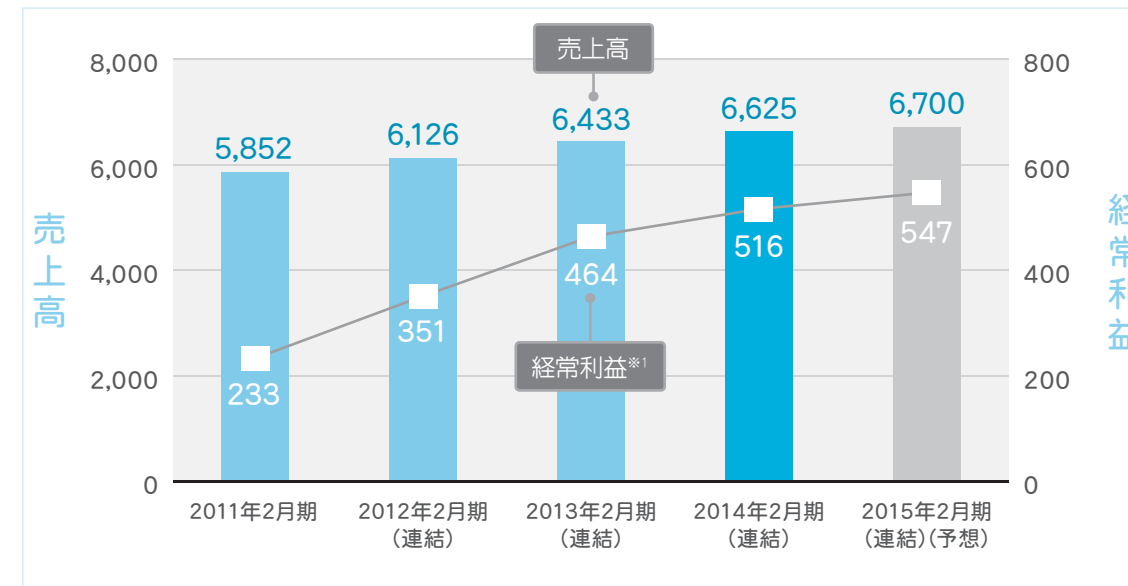
第33期の展望

今後のIT業界の経済環境は、組込み開発を含む各種開発案件の需要において、引続き順調に推移していくものと思われます。

このような環境の中、当社グループといたしましては顧客からのニーズに的確に応えるべく、技術者の技術・知識の向上を推進するとともに、より一層の営業活動を行い受注獲得を目指してまいります。一方、そのための人材育成、特にプロジェクトマネージャーやプロジェクトリーダー、並びに優秀な社員の採用等に関する先行投資も必要不可欠となっており、そのための各種施策を積極的に実施してまいります。

以上により、2015年2月期の通期の業績予想は、売上高6,700百万円、営業利益540百万円、経常利益547百万円、当期純利益320百万円を見込んでおります。

▽売上高、経常利益の推移予想（百万円）



※1 経常利益は、固定資産除却損を特別損失から営業外費用に計上する方法に変更した数値を記載しております。

中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、顧客企業におけるエンジニアに対するニーズと競合他社との差別化の観点から、支援する技術品質の安定的な向上とともに、以下の3点を重要課題として取り組んでまいります。

01 優秀な人材の確保及び育成

技術スキルだけに偏った採用に陥らず、人間性重視の採用戦略を推し進めております。新卒エンジニアに対しては、社会人常識の教育と、技術基礎教育を行い、その後現場にて実践的な技術力を磨いております。

02 業務効率化による利益率向上への取り組み

要員の適正化や作業工数の効率化などにより、利益率向上の取り組みを行うことが可能となります。また、他プロジェクトとの連携による人材リソースの共有などで、より効果的な利益率の向上も望めます。

03 コア事業における一部の取引先への依存度低減及び新規優良取引先の開拓

情報通信分野、成長が期待される医療機器等の分野にも注力し、営業推進を行ってまいります。また、Web系のシステム開発にも取り組んでいる所存です。

新規事業の取り組みについて

技術の蓄積や自社ブランドの確立を目指し、新規事業へ取り組んでおります。

S4 Apps <http://www.sobal.co.jp/s4/>

S4 AppsではiPhone、iPad、Android向けのアプリケーションを開発しております。音楽やエンターテイメントなど多様な富んだアプリケーション開発を行っており、ご好評をいただいております。



読書ログ <http://www.dokusho-log.com/>

映画ログ <http://www.eiga-log.com/>

読書ログはどなたでも無料で利用できるWebサイトです。書籍管理や本を通じて広がるコミュニティを支援すべく日々開発に取り組んでおります。

姉妹サイトとして、映画を通じて広がるコミュニティを支援する映画ログがあります。

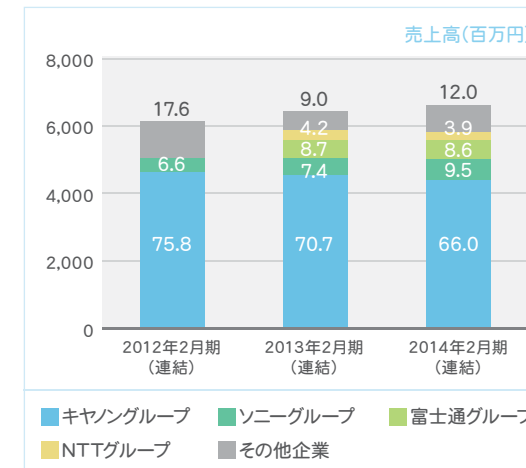


取引先の状況について

当社グループの売上高は、特定顧客への依存度が高く、2014年2月期における売上高比率はキャノングループが66.0%を占めており、経営の健全性確保の観点からキャノングループへの売上の拡大を図りつつ、他社への売上をそれ以上に伸ばさせていくことによって依存度をより低減させることが、今後の安定した経営を進める上で非常に重要な経営課題であると認識しております。

この経営課題への取り組みとして、新規優良取引先の開拓は必須であり、積極的に営業活動を推し進めております。また、M&Aの実施による顧客獲得も考慮し戦略的に顧客獲得に取り組んでまいります。

▽取引先別比率(%)



お客様の信頼を得るために

ソーバルでは、自社の技術力維持や雇用の安定のため、業務を担当するエンジニアの大半がソーバルの正社員です。

技術の蓄積、コンプライアンス教育、漏えい防止のための安全対策など、長期的な視野での教育も可能となり、お客様から高い安心と信頼を得られております。

コンプライアンス体制の強化・維持

技術・ノウハウの蓄積

技術情報・機密情報の漏えい防止

熟練技の伝承

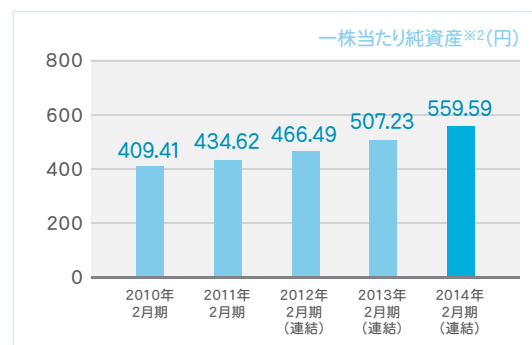
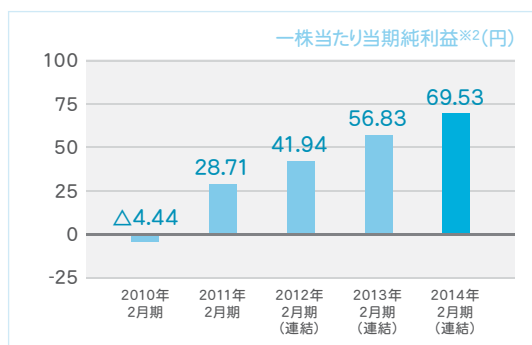
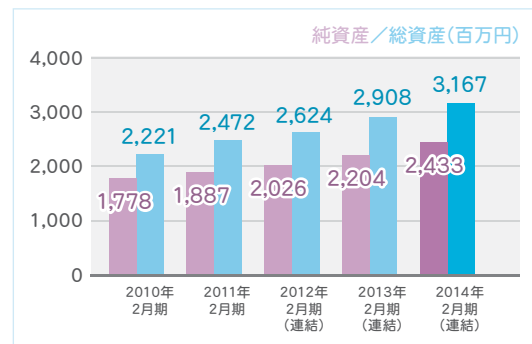
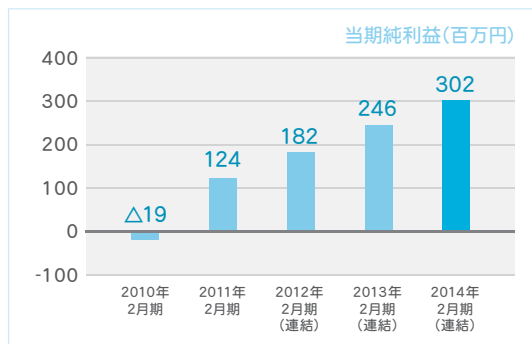
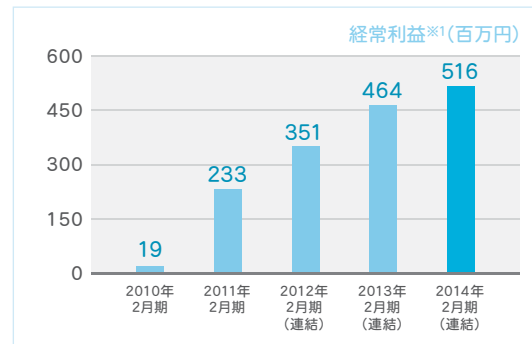
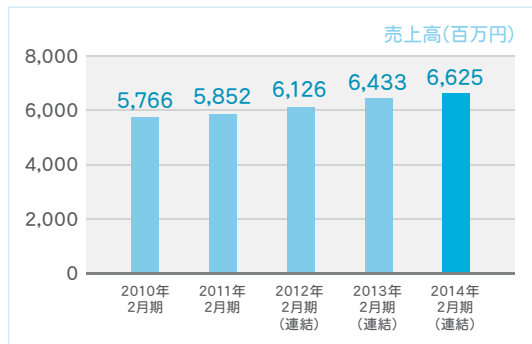
個人情報保護

チームワーク・一体感

高い安心感と信頼感

業績ハイライト

Financial Highlights



※1 経常利益は、固定資産除却損を特別損失から営業外費用に計上する方法に変更した数値を記載しております。

※2 2011年11月1日付で当社普通株式1株につき、2株の分割を行っております。一株当たり情報に関しては過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行い記載しております。

財務諸表

Financial Statements

損益計算書

(単位：百万円)

科目	2013年 2月期 (連結)	2014年 2月期 (連結)
売上高	6,433	6,625
売上原価	5,219	5,276
売上総利益	1,214	1,348
販売費及び一般管理費	756	830
営業利益	457	518
営業外収益	7	6
営業外費用	0	7
経常利益※	464	516
税金等調整前当期純利益	464	516
法人税等合計	217	214
法人税、住民税及び事業税	208	222
法人税等調整額	8	△7
少数株主損益調整前当期純利益	246	302
当期純利益	246	302

※ 経常利益は、固定資産除却損を特別損失から営業外費用に計上する方法に変更した数値を記載しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2013年 2月期 (連結)	2014年 2月期 (連結)
営業活動によるキャッシュ・フロー	343	284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68	△73
現金及び現金同等物の増減額	151	7
現金及び現金同等物の期首残高	1,318	1,469
現金及び現金同等物の期末残高	1,469	1,477

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2013年 2月期 (連結)	2014年 2月期 (連結)
(資産の部)		
流動資産	2,610	2,704
固定資産	297	462
資産合計	2,908	3,167
(負債の部)		
流動負債	555	571
固定負債	147	162
負債合計	703	733
(純資産の部)		
資本金	212	213
資本剰余金	117	118
利益剰余金	1,874	2,102
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,204	2,433
純資産合計	2,204	2,433
負債純資産合計	2,908	3,167

株主優待のご紹介と配当政策

Stockholder special benefit plan and Dividend policy

2015年2月期の株主優待制度の内容変更について

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするべく、株主優待制度として食品等のギフトの贈呈を行ってまいりました。今般、株主の皆様に対する公平な利益還元の見点から慎重に検討を重ねました結果、**株主優待制度の内容を一部変更すること**といたしました。

	優待内容
変更前	1単元（100株）以上の株式を保有する株主様に対し、食品等のギフトを贈呈
変更後	1単元（100株）以上5単元（500株）未満の株式を保有する株主様に対し、500円相当のクオカードを贈呈
	5単元（500株）以上の株式を保有する株主様に対し、2,000円相当のクオカードを贈呈

2014年8月31日現在の株主名簿に記載された株主様から実施いたします。

剰余金の配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営課題の一つとして考え、企業価値の増大に努めてまいりました。株主の皆様への最大の利益還元は、業容拡大と企業価値の長期的最大化であると考えており、株主配当による利益還元について、当社において将来可能性がある企業買収や設備投資、研究開発等のための内部留保の充実を図りながら、安定的かつ継続的に増加させていきたいと考えております。

今後の株主の皆様への直接的な利益還元の基本方針として、2014年2月期までは配当性向30%を目標としておりましたが、**2015年2月期からは、35%に目標を定め、継続的に株主の皆様へ還元してまいります。**

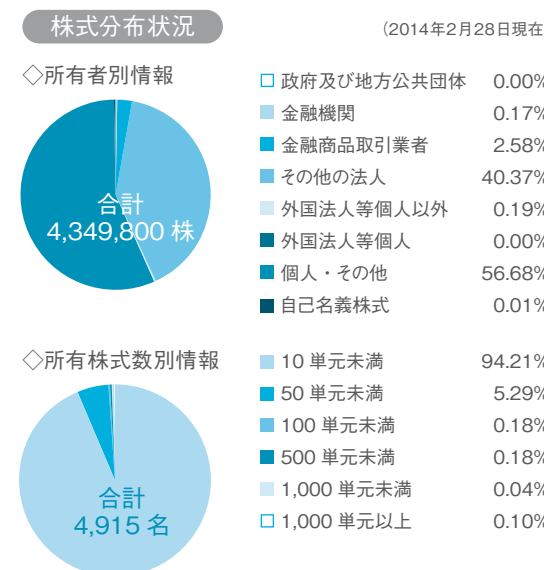
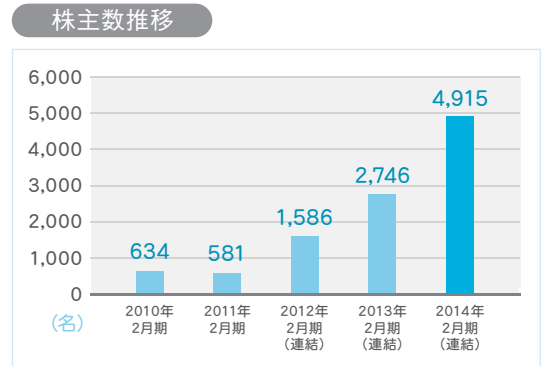
(単位:円)	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2015年2月期(予想)	13.00	13.00	26.00	35.3%
2014年2月期(連結)	8.00	13.00	21.00	30.2%
2013年2月期(連結)	8.00	9.00	17.00	29.9%
2012年2月期	5.00*	8.00	13.00*	31.0%
2011年2月期	3.50*	5.00*	8.50*	29.6%

※ 2011年11月1日付で当社普通株式1株につき、2株の分割を行っております。一株当たり情報に関しては、過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行い記載しております。

株主情報

Stockholder information

株式基本情報		(2014年2月28日現在)
証券コード	2186	
上場市場	株式会社東京証券取引所	ジャスダック市場
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
期末配当支払株主確定日	2月末日	
中間配当支払株主確定日	8月31日	
株主総会	毎年5月	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
単元株式数	100株	
発行可能株式総数	14,800,000株	
発行済株式総数	4,349,800株	
株主数	4,915名	
公告方法	電子公告 事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に掲載します。	



大株主

(2014年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
エバーコア株式会社	1,740,000	40.0
ソーバル従業員持株会	608,500	14.0
川下 奈々	188,720	4.3
推津 敦	188,720	4.3
推津 幸子	118,120	2.7
株式会社 SBI 証券	91,500	2.1
推津 順一	73,840	1.7
善生 宏隆	25,000	0.6
福島 則光	20,000	0.5
蔵方 肇	14,900	0.3

※ 持株比率は、自己株式数(303株)を控除して計算しております。

会社 / 株式情報

Company and Stock information

会社概要

(2014年2月28日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子 3-25-14 ソーバルビル
資本金	213百万円
事業内容	エンジニアリング事業 ・ソフトウェア・ハードウェアの設計開発 ・第三者検証、マニュアル制作 その他事業 ・RFID事業、ネット関連事業
社員数	連結：890名 単体：814名
ホームページ アドレス	http://www.sobal.co.jp/

株式手続き

住所・氏名・振込口座などの変更について

ご住所の変更や配当金の受取り方法等、株式に関する手続きのお問合せ先は下記をご参照ください。

一般口座を ご利用の株主様	お取引先の証券会社 お取引先の証券会社までお問合せください。
特別口座を ご利用の株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社（証券代行部） 〒137-8081 東京都江東区東砂 7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話番号：0120-232-711 受付時間：9:00～17:00（土日祝休み） URL：http://www.tr.mufg.jp/daikou/

役員紹介

(2014年5月29日現在)

取締役会	代表取締役社長	推津 順一	執行役員	推津 敦
	代表取締役副社長	推津 敦		河原 浩一
	専務取締役	河原 浩一		稲葉 勝巳
		稲葉 勝巳		岩崎 恭治
	常勤監査役	吉岡 秀勝		井上 一幸
	監査役 (弁護士)	嶋田 雅弘		新居見 憲治
監査役 (公認会計士)	吉田 光一郎	西岡 建太		
		大久保 仁美		
		植田 年青		
		川田 美則		
		古屋 繁之		
		杉山 義雄		
		宮澤 克行		
		両瀬 賢一		
		山林 敬		
		猪狩 安広		
		伊藤 光男		
		林 雅伸		

株式に関するお問合せ先

	ソーバル株式会社 IR担当窓口
	〒146-0092 東京都大田区下丸子3-25-14ソーバルビル TEL: 03-5482-1420 (受付時間 平日 9:00～16:30)
IRサイトアドレス： http://www.sobal.co.jp/ir/	